

年末年始に際し 校長 前田 倍成

24日(火)は2学期の終業式。その後子どもたちは冬休みに入ります。ぜひ次のようなことに十分に気をつけ、楽しく、安全に冬休みを過ごしたいものです。



校訓 「志高く」

【交通事故】

学校では常日頃より交通事故防止のための注意喚起を行ってきております。冬季は、降雪で周囲の確認がしづらい、路面が凍結する、積雪によって歩道が狭くなっているなど、気象状況の影響が大きくなります。これは歩行者側に限らず、自動車を運転する側にとっても同様のリスクです。歩行時には事故等を回避する慎重な行動が必要なこと、降雪時の自転車運転は決してしないことなど、改めてご家庭でもお話し合ってください。

【不審者等】 石川県警察本部からのお知らせ 子ども安全対策 石川県警察本部



年中ことある毎に、マチコミメールで不審者情報をお知らせし、注意喚起をお願いしておりますが、この冬季であっても注意を怠ることはできません。

お出かけの際などには、お子様と離れない、目の届くところにいるなどのご対応にご配慮ください。

【心の不安】

震災から早1年が経とうとしています。教職員は、被災による児童のこころのケアについて研修を重ねています。その内容からご家庭でも留意していただきたいことを記します。

□アニバーサリー反応：災害などの大きな出来事を経験した後、節目の時期に、心身の状態が不安定になる現象

1月1日の地震からの節目となる時期(1年が経つこの時期を含め)に生じる可能性があります。特に正月という特別なイベントに災害が結びついていることで当時の記憶がよみがえりやすく、不安や悲しみが生じることがあります。冬支度、降雪などの季節感、報道の特集等がきっかけとなることもあるようです。

ただし、こうした反応は、災害に限らず「誰にでも起こり得る、当たり前」の反応であり、「異常でも心の弱さでもない」のです。

対処法としては「起こりうる反応のこと(思い出してドキドキする、悲しくなる、イライラする、寝つきが悪いなど)」「誰にでも起き得ること」「反応が出た時の対処法(リラックスできる方法、話をよく聞いてもらう、楽しいことをいつもどおりにすることなど)」を予め伝えておくことが大切なのだそうです。

参考：『こころのケア(災害後の長期的サポート)』金沢大学附属病院 子どものこころの診療科長 菊池 充氏

学校では、子どもの様子をよく見取るとともに、反応のことや対処法についても伝えていきます。またスクールカウンセラーと連携し「こころの健康アンケート」での実態把握も準備中です。是非、この時期、ご家庭でもお子様と話し合っただけだと幸いです。

また、以前にもお知らせしたように、児童生徒の自殺は、特に「学校の長期休業明けにかけて増加する傾向(文部科学省)」にあります。お子様の様子や小さな変化に気をつけられ見守って

